

工場からのお知らせ

杉並清掃工場 ～ISO認証取得に積極的に取り組みます～

当清掃工場は、平成11年6月に自治体の清掃工場として全国で始めてISO14001の認証を取得しました。昨年規格改訂をした2004年版への移行審査も5月に早々と済ませたところISO関連の専門誌「アイソス」から取材申込があり、当工場の取材記事がISO14001の認証事例として、8月10日発売の9月号に紹介されています。

豊島清掃工場 ～流動床炉でゴミを燃やしています～

当工場だより第14号でご紹介させていただきましたが、豊島工場は、「流動床炉」でゴミを燃やしています。流動床炉では、焼却炉に砂を入れ、下から空気を送ることにより、沸騰している湯のように砂を流動させます。この状態の砂を600℃～700℃の高熱に熱し、その砂の中へゴミを入れて850℃以上の温度で完全燃焼させていますので、燃焼効率に優れています。また、ゴミを焼却して発生する熱は、隣の「区立健康プラザとしま」のプールや冷暖房に利用されています。

板橋清掃工場 ～オーバーホールと献血～

工場では、職員の健康管理と社会貢献を目的として、職場ぐるみの献血を行っています。今年も去る7月27日、工場職員ばかりでなく、近隣の住民の方々、板橋東西の両清掃事務所、光が丘清掃工場等の協力を得て、計21,200ml（牛乳瓶106本分）を提供しました。日赤からは、夏場は献血が少ないことから、オーバーホール（定期点検）期間中のこの時期を、集団献血を是非、毎年続けてほしいとされています。

練馬清掃工場 ～工場あれこれ～

工場の南側・北側に職員手作りの竹垣が完成しました。敷地内に咲く花がよく見えるように、またトケイソウなどつる状の花をからませるため、約3ヶ月ほどかけて作ったものです。

光が丘清掃工場 ～工場花だより～

光が丘清掃工場だより第13号（平成17年7月20日発行）で紹介させていただきましたが、当工場の管理棟から工場棟へ渡る渡り廊下では、5月には朝顔が、6月末にサボテンが花を咲かせました。サボテンは8月にも再び花が開きました。夏の陽射しと花を育てている職員の愛情をたっぷり受け、これからも花を楽しませてくれることと思います。



▲渡り廊下で咲いたサボテンの花